



福島南ロータリークラブ

基本方針：原点を見つめ、みんなのための奉仕を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



■会長：紺野仁昭 ■幹事：佐久間 功
■会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：佐藤朋也
■委員：斎藤善重 斎藤信男 佐々木孝光 丹治洋子

第26回例会

平成25年1月23日(水) サンパレス福島

■会員/68名 ■出席/38名 ■出席率/55.88% ■メイクアップ/30名 ■修正/68名 ■修正率/100%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 ポールハリス及び
会員家族の物故者への追悼
- 4 杉妻小学校ロータリー文庫贈呈報告
吉田 和義 社会奉仕委員長
- 5 奨学金授与式
- 6 ポールハリス追悼スピーチ
鈴木 恒昭 パスト会長
- 7 閉会点鐘

会員の広場 <ハナモモ植樹記念セレモニー開催>

2月8日(金) 東京都中央区数寄屋橋公園で「ハナモモ」の植樹記念セレモニーが実施されます。銀座新RCの肝いりで福島の元気な姿をPRするのが目的です。多くの会員の参加をお願い致します。

今日の一面記事

アルジェリアで起きたイスラム武装勢力による人質事件で犠牲になった日本人7人の遺体が確認され搬送された。残り3人の安否については依然として不明である。
(1/23 読売新聞)

◆会長あいさつ◆

紺野 仁昭 会長



初めに、アルジェリアで起きたテロによる人質事件は、平和に見える日本でも、遠い国の話ではないことを改めて思い知らされました。犠牲になられました方々のご冥福をお祈り申し上げます。

次に、6月にリスボンで行われますR I 国際大会参加及び国際旅行の件ですが、例会スケジュールに重ならないよう日程を調整して、クラブ対応とすることに理事会で決定いたしました。従いまして、国内旅行は中止となります。国際旅行参加のご案内は既に皆様に差し上げておりますので、参加希望の方は事務局宛て、申し込みをお願い致します。

また、スマイリング特別基金の規則改定の件ですが、従来のスマイリング基金と明確に区別するために、基金の趣旨と目的を明文化する案が、1月11日の臨時理事会におきまして承認されました。詳細につきましては本日皆様に配布いたしましたので、ご確認ください。

さて当クラブ40周年記念事業として行って参りました杉妻小学校ロータリー文庫寄贈及び福島成蹊高等学校奨学金給付の件ですが、今年度で事業終了となります。しかしながらこれは大変有意義な事業であると思いますので、今後3年間の継続事業として行いたいと思います。これにつきましても理事会におきまして承認されましたので、皆様にご報告いたします。本日はポールハリス追悼例会となっております。ロータリーの偉大なる創立者に敬意を表し、後ほど鈴木恒昭パスト会長にスピーチをいただきます。よろしくお願い致します。

◆ポールハリス及び会員家族の物故者への追悼◆

- 2月14日 伊東省司様 (菅原節子会員 実父)
- 5月4日 伊東 稔様 (伊東弘子会員 義父)
- 9月21日 佐藤 登様 (佐藤朋也会員 実父)
- 12月18日 浅倉治助様 (浅倉俊一会員 実父)

[黙とう]

◆ 杉妻小学校ロータリー文庫贈呈報告 ◆

吉田 和義 社会奉仕委員長



1月21日杉妻小学校体育館で贈呈式を終えたことを報告いたします。

式には福島南ロータリークラブより紺野会長以下4名が出席しました。杉妻小学校からは鈴木校長先生と6年生全員及び担当の先生が参列されました。校長先生は読書の大切さを説かれ、又福島南ロータリークラブの3年間にわたる継続支援に大変感謝されました。その後生徒代表によるクラブへの感謝の言葉を頂戴しました。最後に紺野会長より生徒代表に書籍が贈呈され式は無事終了しました。

◆奨学金授与式◆



1年 船田 ゆみ さん



2年 佐藤 勇我 さん



3年 安達 千祥 さん



引率 東畑 重子 副校長

紺野会長から福島成蹊高校生徒1年 船田ゆみ(ふなだゆみ)さん、2年 佐藤勇我(さとうゆうが)君、3年 安達千祥(あだちあき)さんの3名に奨学金が授与されました。

◆ポールハリス追悼スピーチ◆

鈴木 恒昭 パスト会長

「初心に帰って私の反省」



ポールハリス追悼例会に当たり、初心に戻り、盛岡北ロータリークラブの会員が書いた「私の観たロータリー」という題の本を読みました。その中で読めば読むほど私自身反省させられる思いがしました。私のロータリー在籍歴は40年以上ありますが、70歳を過ぎクラブに対して多少マンネリ化した思いと、無理をせず楽しんでいこうという気持ちを抱いていました。皆様はどのように感じておられるでしょうか。

自らの姿勢を本に書いてあるような精神に合致させることは中々困難なようでもあります。しかし例会出席によって何かを掴もうとする意識を持って臨むことは可能です。その意味でよそのクラブをできるだけ訪問してロータリーの核心を掴んでいきたいと思えます。

素晴らしいクラブの条件として大橋パストガバナーが挙げていた3つの条件を基準にして、他のクラブへのメーキャップを積んではいかげでしょうか。

本の中でもポールハリスが最初に思ったことが書かれておりますが、最終的にはロータリーは「専門職業人の集まりで職業を通して貢献することが役目である」と説かれています。私は知人に「ロータリーで何をやっているのか」と問われますが「ロータリーとは自分自身を高めようとする人の集まりで職業を通して奉仕する会」と説明しています。

しかし私が今ロータリーに対して思っていることはこのような精神に十分与しているか疑問も残りません。最後にポールハリスがなくなって今年で66年になります。ポールハリスのロータリー歴は42年、奇しくも私のロータリー歴も42年となります。

ロータリーに感謝して “心の中で合掌”

今月・来月のプログラム

- 1月30日 クラブフォーラム・誕生者お祝い
- 2月16日 ロータリーの読みどころ
誕生者お祝い・会員スピーチ
- 2月13日 柳沼ガバナー補佐訪問
第8回理事会
- 2月20日 委員会中間経過報告
- 2月27日 IM報告

一編集後記一

今年は例年になく大雪で道路の雪もなかなか消えません。運転には十分気をつけたいものです。

(斎藤)